



**注目!**

## 2024年度保険制度改定 医療介護改革の背景は



2024年度の介護保険制度改定に向けて、12月中に基本的な考え方を取りまとめ、答申される予定です。審議は厚生労働省の社会保障審議会で行われますが、予算編成の財務省からの提言も盛り込まれます。予算の半分は社会保障費であり、今後高齢化が進む中で制度改革が求められています。保険料率に歯止めをかけ、医療介護報酬等の改定についてメリハリをつけると提言されており、厳しい内容となる可能性もあります。今後の医療介護についての予測と対応のために注目しましょう。

### 経済財政運営と改革の基本方針 2023 (通称:骨太の方針)



**COST**

2024年度予算編成における課題

(財政制度審議会)

#### 全世代型社会保障制度の構築

- 全ての世代で能力に応じて負担し合い、必要な社会保障サービスが適切に提供される制度を構築
- 「全世代」はこれから生まれる「将来世代」も含むものとして考える

#### 具 体 策

- こども未来戦略方針に基づく少子化対策の着実な実施(支援金制度導入。「実質的に追加負担を生じさせない」)
- 医療介護保険制度の持続性を確保するための改革(改革工程の策定)  
→ 改革の視点: 保険給付の効率的な提供、保険給付範囲の在り方の見直し、高齢化・人口減少下での負担の公平化

#### 今後3年間(変革期間)に対応する 医療・介護・障害福祉報酬のトリプル改定

- 高齢化等による国民負担率の上昇に歯止めをかける。
- 所得の増加を先行させ、税負担や社会保障負担を抑制することに重きを置いて経済財政運営を行う。
- 高齢化等による事業者の収益の増加等が処遇改善に構造的につながる仕組みを構築する。

#### 具 体 策

- 医療介護の保険料率について、雇用者報酬と同水準にすることを通じ、その上昇傾向に歯止めを。
- 担い手確保等の課題に対応しつつメリハリつけた改定を行い、医療介護の保険料率の上昇を最大限抑制し子育て世帯等現役世代の手取り所得を確保。

#### 支え手減少下での人材確保

- ・ 経営情報の見える化の徹底
- ・ 賃上げ実績に応じた支援処遇改善加算、賃上税制活用
- ・ 意識改革、職場環境の改善 生産性の向上、協働化

#### DX推進・デジタル技術活用

- ・ マイナ保険証利用促進(窓口負担軽減等)
- ・ オンライン資格確認
- ・ 電子処方箋による効率化
- ・ ICT機器、介護ロボット等の活用促進

#### メリハリをつけた報酬改定

- ・ 診療所・調剤など、各々経営環境に応じた改定率の設定
- ・ 保有資産も含む経営状況を勘案した対応
- ・ 創薬支援強化と長期収載品等自己負担のあり方の見直し



## 2024年度 医療介護保険制度改正



■ 財務省 財政制度審議会「令和6年度予算編成に関する建議」 参考資料(2)2024年度予算編成における課題(資料II-1-1)  
[https://www.mof.go.jp/about\\_mof/councils/fiscal\\_system\\_council/sub-of\\_fiscal\\_system/report/zaiseia20231120/zaiseia20231120.html](https://www.mof.go.jp/about_mof/councils/fiscal_system_council/sub-of_fiscal_system/report/zaiseia20231120/zaiseia20231120.html)



## 健康長寿 運動することの効果



ケア・ライフ・デザイン  
きらみさお  
代表 吉良 操

運動を含めた身体活動量が多いほど、がん、心疾患、脳血管疾患などの死亡リスクが低下することが報告されています。運動不足で体力、身体活動量、持久力、筋力低下を招くことで立つ歩くなど移動能力が低下し仕事や家事、外出、趣味の機会が減り、生活の質が低下し引きこもりになり気持ちもふさぎます。

運動で気分転換やストレス解消、自己効力感が高まります。運動は身体健康面だけでなく、精神的、心理的、社会的に健全になるなど幅広い効果が期待できます。



- 動脈硬化性の病気  
とくに心筋梗塞の危険性を減少



- 乳がんと結腸がんの  
危険性を減少



- 体脂肪を減らし体重の  
コントロールに有効
- 脂質異常症（低HDLコレステロール血症、高トリグリセライド血症）の  
予防・改善に有効



- 認知症の  
予防と改善に有効



- 睡眠障害の改善



- 高血圧の  
予防・改善に有効



- ストレスの解消、うつ病の  
予防・改善に有効



- 糖尿病やメタボリックシンドロームの  
予防・改善に有効



- シェイプアップし  
自己イメージが改善



- 骨粗鬆症による骨折の  
危険性を減少

- 家族や友人と身体活動の時間を  
共有



- 筋力を増しいろいろな身体活動の  
予備力が向上



- 良い生活習慣が身につく、  
悪い生活習慣を止めるのに有効



- 筋力とバランス力を増し、  
転倒の危険性を減少



- 老化の進行を防ぎ、QOLの  
改善に有効



■ 長寿科学振興財団 健康長寿ネット「運動不足は死亡率に影響するか」  
<https://www.tyoju.or.jp/net/kenkou-tyoju/kenkou-undou/undou-sibou.html>

適切なケアマネジメント手法

科学的介護(LIFE)の活用

# 認知症の最前線



2023年12月13日(水) 15:00~16:30

無料 GREEN CARE FORUM Online

私たちがいかに大切に



きぬせん福祉用具研究会

千葉県船橋市海神四丁目9-18

連絡先：047-433-1012 FAX：047-433-1034

mail：info@kinusen.net URL：https://kinusen.net

